

令和4年（2022年）度 地域連携活動報告書

連携先名称：山梨県小菅村

協定締結日：平成18年（2006年）10月20日

活動状況：継続中

連携先窓口：山梨県小菅村教育委員会 担当：木下拓郎様

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：入江彰昭（地域創成科学科）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：入江彰昭（地域創成科学科）

活動目的：地域資源を活用した地域人材育成と実学教育の実践

活動内容・成果：

（1）小菅村研究報告会

4名学生（森林：生態研、森林政策、厚木資源学科）報告した

日時 3月3日（金）13：30～15：00

（2）森林総合科学科 造林学研究室3年ゼミ調査（11月4日）

（3）調査研究

日付	泊数	人数	実施場所	備考
5月19日	1	5	小菅村	松林先生＋農大生
6月20日	1	5	小菅村	農大野動研
6月24日	2	4	小菅村	農大石川研(ワサビの昆虫)
8月3日		3	小菅村	農大野動研
8月9日		5	小菅村	農大和久井先生ワサビ田整備
8月10日		5	小菅村	農大和久井先生ワサビ田整備
8月10日		5	小菅村	農大野動研
9月11日		5	小菅村	農大野動研
10月10日	1	4	小菅村	農大石川研(ワサビの昆虫)
10月13日	1	4	小菅村	農大野動研
11月10日	2	7	小菅村	農大野動研
11月24日		4	小菅村	森林政策学研究室
12月27日	1	4	小菅村	農大野動研

活動回数13回 参加人数60人

（4）源流大学事業を引き継いでいる小菅村およびNPO法人多摩源流こすげに

より学生の受入れ、および源流の文化や知恵を継承する実習を数多く開催し、そこへ学生が参加している。



課題・改善点：

本活動の中心的位置づけであった特別講義「多摩川源流大学」の開催がなくなったことにより、定期的および一定数の学生が来村しなくなったことで、村内での農大生のインパクト、印象が少し薄れてきている。

担当人員及び活動予算も大幅な削減傾向にあり、これら状況下にあわせた活動内容への見直しが必要である。